

社協だより

かしわざき

柏崎地区社会福祉協議会

発行者

柏崎地区社会福祉協議会

会長 田中 泰之

さいたま市岩槻区真福寺365

事務局長 酒井 勝人

広報担当 森田 幸雄

TEL・FAX 048-797-2911



あけまして
おめでとうございます

柏崎地区社会福祉協議会会長

田中 泰之



令和6年の新春を迎え、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

去年は、新型コロナウイルス禍が一段落し、普段の生活を恐る恐る取り戻し中の1年間でした。当柏崎地区社会福祉協議会も、みなさまのご協力とご支援により、計画した全ての行事を開催する目途が立ちましたが、コロナ禍前と比較すると参加者が多少少ない傾向でした。

当柏崎地区社会福祉協議会は、基本構想「誰もが安心・安全に暮らせ・人にやさしく・ふれあいのある町を」実現する為に活動しております。今まではどちらかというと、高齢者向けの活動が多かったのですが、令和5年度から「児童福祉の推進」にも力を入れたく、小中学校の生徒中心の「ふれあいサロン会」を開催、又子育て世代の保護者と小学生以下ゼロ歳までの児童を対象とした「しあわせサロン会」を一部地域で試験的に開催する事ができました。令和6年度は、更に充実させていきたいと思っておりますので、皆様のご協力・ご支援よろしくお願い申し上げます。

最後に令和6年が皆様にとりまして更に良い年でありますよう、ご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

＝ 4年ぶりに敬老祝賀会を開催しました＝

柏崎社会福祉協議会では毎年「敬老祝賀会」を開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染が蔓延し令和元年9月の祝賀会を最後に中止していました。

ここへ来てコロナ感染もやっと落ち着き始め今年度は何とか開催できる雰囲気になり、当社協では開催プロジェクトチームを組み、綿密に計画を練り、開催準備を進め令和5年9月17日(日) 午後1時より「さいたま市民会館いわつき」をお借りして開催できる事になりました。

8月中に敬老対象者に各地区民生委員が御祝い品を渡し、出欠を聞き統計を取りました、ところ対象者1603名の内144名の参加希望が有り、つきそい家族や関係者等を含め約200名の方が参加されました。

会場内外の持ち場役割は社協役員約50人や目白大学から作業療法科の小林先生はじめ8人の学生さんの応援や、緞帳を下げるボタンには柏陽中学校美術部が書いてくれた横断幕が下げられ、舞台を引き立ててくれました。



民生委員から記念品贈呈

午後1時30分、酒井柏崎社協事務局長の開会のことばで開幕。初めに田中泰之柏崎社協会長より開催にこぎつけられた喜び、多数の元気な皆さんの出席に感謝し、御礼を兼ね祝辞を述べられました。

来賓席には 清水勇人さいたま市長、小島信昭埼玉県会議員、長谷川司岩槻区長、田中克幸さいたま市社協岩槻区事務所長、中村金司当協議会顧問の皆様のご臨席を仰ぎ、皆様からご祝辞を頂きました。

このあと恒例により米寿を迎えた柏崎地区の小瀧さくさん、原町地区の長島悦子さんのお二人に、田中柏崎社協会長より花束を贈呈しお祝いを致しました。

いよいよアトラクションの始まりです。3部構成で最初はロックバンドの「加倉グランパス」のみなさんです。ヴォーカル兼司会の酒井さんの軽妙でユーモアある進行で始まりあいさつ代わりに迫力ある音量で演奏を始め、皆さんの心をわしづかみ。ロックバンドの生演奏はなかなか聞く機会がないため、オールディーズナンバーが耳に心地よくあっという間の30分でした。



長島さん 小瀧さん

第2部は艶やか舞踊です。「花柳流 紫女千穂(しめちほ)社中」5名が出演され、それぞれの方の得意なる曲目を艶やかに踊って披露してくださいました。

第3部はフラダンスチーム「Hula O Minoaka」の皆さんで、茨城県つくばから子供さん2人を含む総勢26名もの皆さんが駆けつけてくれました。4～5人ずつ入れ替わりながら次々と全12曲を披露してくれ気分は南国ムード。大変華やかで魅惑的なステージになりました。





演目の途中には“見上げてごらん夜の星を”“川の流れるように”をフラダンスに振付けて踊ってくれました。最後は“マツケンサンバ”でフィナーレ、大喝采でした。

午後 4 時 無事閉会を迎える事ができお土産の紅白饅頭を手に皆さん笑顔で帰路につきました。

柏崎地区運動会 (体育振興会主催)

記録続きの猛暑もやっと落ち着き、久しぶりの運動会は絶好の天候に恵まれ、各自治会とも元気に参加してくれました。しかし中には参加希望者が最初は 10 人も集まらず、苦労した自治会もあるようです。



さて、プログラムは大きく分けて自治会対抗、自由参加（小学生を含む）、未就学児童、クラブ対抗、全員参加と万遍なく参加できるように工夫されています。

午前 9 時各自治会のプレート在先頭に選手入場、本部前に整列、吉田大会委員長の激励の挨拶をはじめ、各セレモニーを済ませいよいよ競技の始まりです。

最初の紅白玉入れは、これまで各チーム 20 人程で行っていましたが今年は参加者が少ないため 10 人チームで競いました。自治会対抗競技では五種目競争や障害物競技、トライアングルリレーなど足自慢だけでは勝てない変則種目が含まれ、容易にゴールできない面白さがあり、各チームとも応援で盛り上がっていました。小学生の徒競走はみなさん真剣勝負で夢中で走る姿が、父兄や大人達に感激を与えました。

15 時過ぎ予定通り閉会式となり総合優勝は“加倉第 3 区自治会”、準優勝は“浮谷市営自治会”、3 位は“真福寺自治会”でした。皆さん沢山の獲得商品を手に帰路につきました。



(令和 5 年 10 月 8 日(日))

世代間交流ふれあいサロンを開きました (社協主催)

コロナ流行以前は柏崎小学校でのバザー開催日に合わせて行われていましたが、今回は“昔あそび”を主体に親子で遊べるようにいろいろゲームを用意しました。ベーゴマ、木独楽、けん玉、輪投げ、羽子板、メンコ、ビー玉、大声コンテスト、竹馬、フラフープ、まとあて、竹とんぼ、投球スピードガン、くつ飛ばし etc. たくさんの遊びの中から下線の5種と昔



いちにい! いちにい!



全部できましたー

あそびから1つ加え6種類のうち3種類以上のスタンプをもらおうと景品がもらえる仕組みです。

けん玉は今や世界的にも知られるようになり、競技も行われているようです。会場の子供の中にも上手な子が何人かいました。難しいのはベーゴマ、木独楽で、コマと紐を持ってどうしたらよいかボランティアの人たちに真剣に教えてもらっていました。

(令和5年11月4日(土))

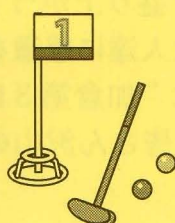
グランドゴルフ大会 (体育振興会主催)

今季1番の寒い朝でしたが、129名の参加者が柏陽中グランドに集まりました。1面8ホールのコートをA, B, Cと3面設置。数人ずつのグループに分かれ、24ホールを競技し、各自治会の上位6名の成績により、自治会の順位が決まるルールとしました。参加者の年齢は自由参加としたため、子供の参加も認められます。

(令和5年11月12日(日))



よーし! ホールイン



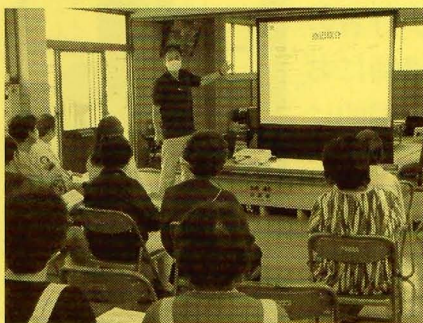
自治会成績

優勝	加倉2区自治会	364打数
準優勝	柏崎自治会	365打数

個人成績

1位	小林喜代子 さん	加倉2区	52打数
2位	影山 茂治 さん	加倉1区	54打数
3位	中村 勇 さん	柏 崎	55打数

高齢者の筋力低下は怖い！ (加倉第 1 区ふれあいサロン)



シニアサポート中部圏域社協岩槻の紹介で「田中ファミリー」の理学療法士 中島浩二氏に“加齢に伴う筋肉の変化”についての講習を受けました。自立生活するにはいかに筋肉が重要かの話を聞き、ストレッチの方法も教わりました。

筋力の低下は加齢とともに徐々に落ちてきて 70 代では 20 代と比べて 40% 近く低下するそうです。このため日常生活で動いたり歩いたりするために必要な筋肉を鍛え、今後、要支援・要介護になることを出来る限り防ぐ（遅らせる）又は現在の状態をそれ以上悪化しない様にすることが重要になってきます。日頃からストレッチや散歩等を行う事で筋肉を使う事が有効だそうです。（*過度な運動、ストレッチ等は避ける）あと、意外と多いのが高齢者の低栄養症状がみられるそうです。タンパク質たまご、魚、肉、野菜等を万遍なく摂取する事が理想です。栄養素が不足すると体力低下により、買い物や調理が困難になったり、噛む力や味覚の低下、車や自転車で出かけるのがおっくうになり閉じこもりがちに、あげくに精神的ストレスや認知機能の低下等に繋がります。（これは最悪の場合です）

現在、岩槻区は人口の約 34% 強が 65 歳以上の高齢者です。今後 2025 年問題と言われる戦後生まれの世代の人々が 75 歳以上の後期高齢者となると、高齢者全体の半数が 75 歳以上となります。こうなると医療や介護の需要が増える事が想定され、介護職員の不足も懸念されています。皆さん日頃から少しでも運動して元気に暮らしましょう。ご自愛を！

(令和 5 年 7 月 4 日(火))

真福寺サロン会 (真福寺自治会)

コロナ、インフルエンザ対策をバッチリしながら“親子 3 代ふれあいサロン”を開催しました。

◎令和 5 年 6 月 25 日(日) 山口紘子さんのフルート・ミニコンサート (21 人参加)

◎令和 5 年 7 月 30 日(日) 村原美穂子さんと羽賀直美さんのバイオリン・デュオコンサート (29 人参加)

バイオリンをひけるようになりたいと小学生さん 5～6 人が来てくれました。

◎12 月 24 日(日) クリスマス会

百歳体操のちょこっと体験、武州鉄道の通った場所さがし、近未来の真福寺地区に話題が広がりました。

「真福寺サロン」予定

◎令和 6 年 1 月 29 日(日) 10:00～ 新春百歳体操

◎令和 6 年 2 月 25 日(日) 10:00～ 早春百歳体操

◎令和 6 年 3 月 24 日(日) 10:00～ 桜 百歳体操

たくさんの方のご参加をお待ちしています。(民生委員 佐藤壽枝)



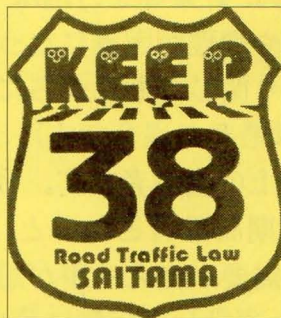
自転車や歩行者の安全教室 (加倉1区サロン)

相変わらず交通事故のニュースは後を絶たず特に自転車や歩行者の事故が目立ちます。今回は岩槻警察署交通課 椎名巡查長を講師にお迎えし、その辺の事情をお聴きしました。案の定この問題は全国的に増加傾向にあり、埼玉県でもその傾向が顕著でつい最近も岩槻区内でも事故があったそうです。

道路交通法38条は「歩行者優先義務」が明記されていますが信号機のない横断歩道を渡ろうとしているのに一時停止しない車両（ドライバー）や減速して歩行者がいるかどうかを確認しないなどで歩行者が被害となる死亡事故が後を絶たないそうです。このため埼玉県警察本部交通部総務課では、横断歩行者の事故撲滅を目指しシンボルマーク（KEEP38）を考案し、このマークステッカーを車両に貼付し、やさしい運転を実践したり、ドライバーどうしの意思疎通をはかり、広める事により安全意識が高められるよう推進していくそうです。ステッカーはイベントなどで配られることがあるそうです。

自転車は車道を走るのが原則です。従って通行するときは自動車と同じ左側通行です。やむなく歩道を通行する場合は車道寄りを徐行しなければなりません。混んでいる場合は降りて転がしてください。

現在ヘルメット着用は「努力義務」ですが事故の際に命の危険度が大きい頭部を守るためには是非着用をお願いします。また、ヘルメットは建設用、防災用等色々ありますが、自転車用は転倒時などに頭全体を守れるように開発されていますので、専用のヘルメットを使用するのがベストだそうです。



渡るときは 右左の確認 手で合図

横断歩道ではハンドサイン(合図)をして、ドライバーに対し横断する意思を明確に伝えましょう。
手を上げる、手を差し出すなどの合図で横断する意思を伝えましょう。

横断歩道では大きく首を振って、右左の安全を確認してから横断を始めましょう！
大きく首を振ることでしっかりと安全確認ができます。

ドライバーに感謝の気持ちを伝えましょう！
止まってくれたドライバーに会釈や手振りで感謝を伝えましょう。



カッコいいだけじゃない!命を守るヘルメット!

「交通の方法に関する教則」の改正に伴い、全年齢に対して、自転車ヘルメットの着用が推奨されました。

万が一の事故に備え、自転車に乗る時は、大人も子供も高齢者もヘルメットを着用しましょう!



(令和5年11月21日(火))

開所日時 月曜日～金曜日（土日祝祭日休み、臨時休有り）
10時～12時・13時～16時

さいたま市岩槻区真福寺365

TEL・FAX 048-797-2911 地域福祉コーディネーター 倉田 真由美

メールアドレス kswzk.shakyou@gmail.com